

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 15周年 今年も東京・原宿にて開催

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(略称:SSFF & ASIA)」は、5月31日(金)から6月16日(日)まで原宿・表参道、横浜を中心に開催致します。

1999年に俳優の別所哲也が設立し、欧米のショートフィルムを日本に紹介してきたショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)は、2013年の開催で15周年、また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から2004年に立ち上げたショートショート フィルムフェスティバル アジア(共催:東京都)は今年10周年を迎えます。

SSFF & ASIAでは、今年は世界120以上の国と地域から集まった、過去最多の約5000本の作品の中から、特別上映作品を含めた選りすぐりの約200作品を上映。オフィシャルコンペティション(インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門)各部門の優秀賞から選ばれるグランプリ作品は、次年度の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となります。

オープニングイベントは、5月30日(木)に表参道ヒルズ スペース オーにて開催、各部門の優秀賞とグランプリ作品は6月9日(日)明治神宮 神宮会館にて行われるアワードセレモニーで発表となります。5月31日(金)、6月1日(土)はTOHOシネマズ六本木ヒルズにてオールナイト上映を行います。

★ ショートフィルムの魅力

短いもので1分、長いものでも25分(当映画祭規定による)という短時間のなかにメッセージが凝縮されています。

★ 未来の巨匠監督が各国から集結するイベント

SSFF & ASIA 2012 オーディエンスアワード作品『リッチーとの一日(原題:Curfew)』は、先の第85回米国アカデミー賞短編実写部門でオスカーを獲得。また、2010年の米国アカデミー賞に『マイレージ・マイライフ』がノミネートされたジェイソン・ライトマン監督もSSFF & ASIA 2002でオーディエンスアワードを受賞しています。本映画祭は若手クリエイターが羽ばたくための舞台となっています。



開催中のラフォーレ原宿の様子

■ 日程・会場

5月31日(金)、6月1日(土) オールナイト上映
 6月1日(土)～6月5日(水)
 6月6日(木)～6月8日(土)

会場: TOHOシネマズ六本木ヒルズ
 会場: ラフォーレミュージアム原宿
 会場: 表参道ヒルズ スペース オー

■ ナショナルツアー

6月1日(土)～16日(日) (横浜開催)

会場: プリリア ショートショート シアター

※ナショナルツアーは初夏、大阪での開催も予定

■ チケット販売に関して

※決定次第ご案内させていただきます。

■ SSFF & ASIA 2013 オフィシャルサイト 4月後半のアップ予定です

(www.shortshorts.org)

<本リリースに関するお問い合わせ>

ショートショート実行委員会 / ショートショートアジア実行委員会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル4F TEL:03-5474-8201/FAX:03-5474-8202

e-mail: press@shortshorts.org 担当: 高橋(080-3082-4936) 川村(090-6033-1285)

各部門・特別プログラムの紹介

オフィシャルコンペティション(米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象部門)

□インターナショナル部門 / アジア インターナショナル部門 / ジャパン部門

世界中から応募されたショートフィルムの中から、メッセージ性、そしてエンターテインメント性の優れた選りすぐりの約100作品を上映いたします。各部門優秀賞の中から選出されるグランプリ作品は、第86回(2014年)の米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象となります。

□CGアニメーション部門 supported by デジタルハリウッド

海外映画祭で賞の獲得を狙う最新注目作から、ハリウッド作品も顔負けのエンターテインメント作品まで、世界各国から集まったハイクオリティなCGショートフィルムを上映。この部門は、IT関連およびデジタルコンテンツの人材育成スクール・大学・大学院を運営するデジタルハリウッドとコラボレーションし、世界トップレベルのCG作品を国内に紹介するとともに、日本から世界基準のCGクリエイターを発信していくことを目指し、展開しています。

□地球を救え！部門

SSFF & ASIAが環境省と共に2008年に立ち上げた地球温暖化をテーマとした部門、「ストップ！温暖化部門」が、2013年は「地球を救え！部門」として生まれ変わりました。地球温暖化問題だけでなく地球環境に関する様々なテーマの作品を上映し、環境問題に警鐘を鳴らします。また、去年に引き続き、J-WAVEもこの部門に賛同。J-WAVEリスナー審査員により選ばれる「J-WAVEアワード」を今年も選出します。

□ミュージックShort部門

ショートフィルムの視点でセレクトした公式ミュージックビデオと、音楽レーベル各社から正式にエントリーされた楽曲をもとにクリエイターから募集したオリジナルショートフィルムを上映する部門。音楽×ショートフィルムの化学反応から、新たな世界が生まれます。

□アカデミー賞プログラム

米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭が贈る世界最高峰のプログラム。本年度のアカデミー賞短編部門ノミネート・受賞作品を含むハイクオリティな作品を特集上映します。

□フットボールプログラム presented by J.LEAGUE

Jリーグ20周年記念として、「スポーツの持つ力」を映像を使って、より多くの方にお届けする「フットボールプログラム」を2011年度から上映しています。今年もフットボールから生まれた感動的なドラマの数々が世界各国から集まりました。また、MONKEY MAJIKの「If」が主題歌となっているJリーグ20周年記念特別ショートフィルムも上映します。

□沖縄国際映画祭×SSFF & ASIA 共同製作作品『死神失格』

沖縄国際映画祭[開催期間:3月23日(土)~3月30日(土)]が5周年、SSFF & ASIAが15周年という節目を迎えることを記念して、お笑い芸人と映像クリエイターとの才能が交わり、ショートフィルムを共同製作しました。記念すべきコラボレーション第一弾としてお届けするのは、田中要次、なだぎ武、中越典子など豪華キャストが出演する『死神失格』(監督:渡邊世紀)です。

□スカパー！×ShortShorts 初の共同製作によるショートフィルム『消しゴム屋』

スカパー！と共同製作した初のオリジナル3Dショートフィルム『消しゴム屋』の2D版を特別上映します。依頼人の記憶を消す二人のエージェントの物語。出演は、でんでん、大東駿介他。メガホンをとったのは、実写版映画『タイガーマスク』の公開を控える落合賢監督です。

□MOËT STAR AWARD(モエ スター アワード)

この賞は、シネマに愛されるシャンパンブランド「モエ・エ・シャンドン」と「SSFF & ASIA」に共通する5つの哲学(「パイオニア精神」「グローバルな視点」「洗練された価値創造」「自己達成力」「わかちあう心」)を持ち、かつ両ブランドのイメージにマッチした未来の映画業界を担う輝くスターに贈られるアワードです。本年度のSSFF & ASIAにて上映される作品の中からノミネート者が選出され、その中から最も輝くスターとして最終受賞者1名にこのアワードが授与されます。

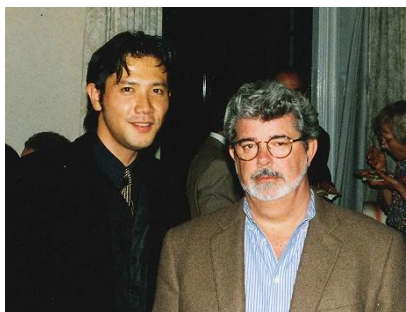
※その他のラインナップ、イベント、ゲスト来場情報も順次ご案内していきます。

■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会 (SAG) の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル (SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、同年には当時の東京都知事、石原慎太郎氏の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバル アジア (SSFF ASIA) を立ちあげ、現在はSSFFと今年10周年を迎えるSSFF ASIAという2つの映画祭が「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭と成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ27万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

また、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、メキシコ、マレーシアと海外に展開も重ねるほか、海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も積極的に行っています。本映画祭では、2007年に『MEI 美』がノミネートとなり、『台北の朝、僕は恋をする』で長編デビューをしたアーヴィン・チェン監督、『881 歌え！ パパイヤ』がシンガポールで大ヒットとなったロイストン・タン監督、2010年に米国アカデミー賞にノミネートされた『マイレージ・マイライフ』のジェイソン・ライトマン監督など、本映画祭を経てチャンスを掴み、長編監督として成長していった例も少なくありません。今や第一線で活躍するこれらの監督のように、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭はこれからも応援していきます。



1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて。
(左: SSFF & ASIA代表の別所哲也、右: ジョージ・ルーカス監督)

本映画祭の表記について

SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2013

↑半角空 ↑半角空 ↑半角空 半角空↑ ↑半角空 ↑半角空

Short Shorts Film Festival & Asia 2013

↑半角空 ↑半角空 ↑半角空 半角空↑ ↑半角空 ↑半角空

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2013

↑半角空 半角空↑ ↑半角空 ↑半角空

略称: SSFF & ASIA 2013

半角空↑ ↑半角空 ↑半角空

<本リリースに関するお問い合わせ>

ショートショート実行委員会 / ショートショートアジア実行委員会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル4F TEL: 03-5474-8201/FAX: 03-5474-8202

e-mail: press@shortshorts.org 担当: 高橋(080-3082-4936) 川村(090-6033-1285)